



I 経営の基底

「こども基本法」に基づき、こどもの意見等を尊重し、教育活動に反映させる。

「こども基本法」においては、「年齢や発達の程度に応じたこどもの意見表明機会の確保・こどもの意見の尊重」が基本理念として掲げられている。当事者であるこどもの意見を聴くことは、「担任力」の向上にも資することであることから、学校経営の基底として位置付ける。

II 学校スローガン

『 つくりあげよう “みんな仲よく花と咲く”左沢小 』

- ・ “みんな仲よく花と咲く”は、校歌の歌詞にある。

校歌を歌うたびに、個々の立場からこの言葉のイメージを広げ、意識化し、具現化に向けて取り組んでいくことを願い、設定した。

III 重点的に育てたい資質・能力

めざす学校像	愛され続ける学校		
	1 全ての子どもたちが、 生きる力を身につけられる学校	2 全ての子どもたちが、 居心地の良さを感じる 安全で楽しい学校	4 家庭・地域と連携協力しながら ともに歩む学校
	3 全ての教職員が、 夢と誇りを持って 元気に働くことができる学校		
学校教育目標	あかるく	かしこく	たくましく
めざす子どもの姿	よろこびを力にできる子ども		
	心豊かな子ども	進んで学ぶ子ども	健康な子ども
学校研究主題	主体的に学び続ける姿をめざして		
知識及び技能が 習得されるようにすること。	<input type="checkbox"/> 明るいあいさつが できる子ども	<input type="checkbox"/> 協働で課題解決を めざすことができる 子ども	<input type="checkbox"/> 安定したリズムで 生活できる子ども
思考力、判断力、表現力等を 育成すること。	<input type="checkbox"/> 思いやりの言動が できる子ども	<input type="checkbox"/> 自分の考えや思いを 表現できる子ども	<input type="checkbox"/> 命を尊び、 安全に気をつける 子ども
学びに向かう力、人間性等を 涵養すること。	<input type="checkbox"/> ルール・マナーを 大切にできる子ども	<input type="checkbox"/> 進んで学習に 取り組む子ども <input type="checkbox"/> ふるさに興味関心 を持つ子ども	<input type="checkbox"/> 進んで運動に 取り組む子ども

IV めざす教職員像

「山形県教員『指標』」等に基づくキャリアステージに応じた資質・能力を身に付けた

学び続ける教職員

- 1 夢と情熱をもって教育活動に取り組む教職員
- 2 子どもの思いや願いを大切に、チームで課題解決に挑む教職員
- 3 心身の健康をセルフコントロールできる教職員
- 4 家庭・地域とのつながりを大事にできる教職員

V 経営の基本方針

- 1 「第7次山形県教育振興計画」の趣旨を適切に理解し、学校・家庭・地域の連携・協働のもと、「県民みんなでチャレンジ」の4つの重点的取組みを実践する。
- 2 「学校における働き方改革」の一層の推進を図り、教職員が、自らの授業を磨くとともに、自らの人間性や創造性を高め、効果的な教育活動を行う学校を創る。
- 3 学習端末の更新を機に、ICTを活用した学習活動の一層の充実を図り、「多様な子供たちを誰一人取り残すことのない公正に個別最適化された学びや創造性を育む学び」を具現化する。
- 4 学校運営協議会を中心に、家庭や地域との連携・協働を深め、「共生教育（郷育）」の趣旨を踏まえた効果的・効率的な教育活動を創造する。
- 5 「大江町の小中学校のあり方基本方針（案）」をもとに、今後の教育課程や教育活動についての検討・策定に着手し、次世代の学校づくりのスタートが円滑に図られるようにする。

VI 今年度の重点

あかるく

(1) 全ての子どもたちにとって居心地の良い 仲良く信頼し合える関係づくり・集団づくり

○ 協働の良さを生かした集団活動の充実

- ・ 児童の想像力と創造力が生かされる児童主体の教育活動の実践
- ・ 地域の方々に感謝し、本校の更なる発展に主体的に関わろうとする態度が醸成される児童主体の教育活動の推進

○ 多様なニーズに応じた教育活動の推進

- ・ 「生徒指導提要」の実践化による「児童が、社会の中で自分らしく生きることができる存在へと、自発的・主体的に成長や発達する過程を支える教育活動」の実現
- ・ いじめや不適切な言動の未然防止・再発防止に向けた家庭・地域・関係機関等との連携

かしこく

(2) 「主体的・対話的で深い学び」の日常実践と充実

○ 学びの構えと豊かな教育環境づくり

- ・ 全教育活動を通じた語彙の量・質の向上並びに読書活動の深化
- ・ 教科担任制・TT体制・ブロック内連携等の実施による専門的・協働的な指導の充実
- ・ ICTの活用等による「授業と家庭学習との結びつきの深化」を通じた学習習慣の形成並びに主体性に関わる資質・能力の育成

○ 日常的授業改善と学習用端末の効果的活用促進

- ・ 「研修履歴を活用した対話に基づく研修受講」を通じた教職員の「担任力」の向上と研修成果等を生かした授業研究の実践
- ・ 各教科等の学習や特別活動等におけるICTを活用した児童間の意見交換や相互理解、協働作業、学び合い等の促進

○ カリキュラム・マネジメントの充実

- ・ 地域・社会の資源等を現代の視点から捉え直し、新たな価値を創造し、発信・表現するカリキュラム・マネジメントの実現
- ・ 地域・社会の資源等をキャリア教育の視点から捉え直し、キャリア発達を促進する授業の創造

たくましく

(3) ICT社会における心と体の健康づくり

○ いのちの教育と体力向上の取り組みを推進

- ・ 「する・みる・支える・知る」のスポーツとの多様な関わり方を学び、「豊かなスポーツライフの実現」につなぐ体育授業等の実践
- ・ 健康や体力に関するデータを基に、健康の増進について考え、実践化を図る授業の推進
- ・ 学校生活の見通しを持ち、心身の状態を整え、学習の準備を計画的に行う意識の醸成
- ・ メディアコントロールの継続的な実践等による適切な生活習慣の形成

○ 適切な安全教育、適切な相談体制

- ・ 児童が悩みや困り感を打ち明ける機会や場所の設定と具体的な支援の実施
- ・ 児童が抱える悩みや困り感についての家庭等との共有と協働的な支援の実施